

# 令和7年度事業報告

## 1 事業の実施状況

令和7年度は、東北インテリジェント・コスモス構想の下に、東北地域の自然科学研究に対する助成、国際的研究交流に対する助成事業を実施するとともに、令和6年度奨励賞受賞者の研究実績評価を行い、有望シーズの発掘を目的とした実用化研究助成として、継続助成を実施しました。

さらに、東北インテリジェント・コスモス構想を基礎とし、「東北に生まれる科学技術を推進し、東北文化の体系化とその発信」を図ることにより、東北を、我が国の科学技術と未来文化における頭脳エリアと新産業・文化の発信の拠点にし、我が国の繁栄秩序の構想に寄与していくことを目的として、東北が生み出した先見性のある文化を体系化して、内外に発信する優れた活動を「インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞」として顕彰し、併せて研究を助成する事業を実施しました。

その他、財団ホームページのリアルタイム更新を行い、利用者の利便を図るとともに、公益法人としての責務である国民・社会への情報開示を実施しました。また、「財団ニュース」を定期的に発行し、東北地域の主な研究機関及び関係する県・市・商工会議所等に送付することにより、本財団の活動状況の浸透に努めました。

### (1) 自然科学研究に対する助成事業（定款第4条第1号）

#### ① インテリジェント・コスモス奨励賞への助成

東北7県の大学等の研究機関に所属している40歳(医歯薬系は42歳)以下の若手研究者を対象に、独創的研究開発の種(シーズ)を発掘するとともに、東北地域の活性化・発展に寄与するような研究を支援するため、下記9テーマに対して「インテリジェント・コスモス奨励賞」を授与し、併せて研究助成金を交付しました。

対象研究1) 助成額 @20万円×8テーマ

大学等名	学部等名	職名	氏名	研究テーマ
弘前大学	大学院理工学研究科	助教 (PI)	関 貴一	界面分子構造の高解像三次元情報取得を目指した、マルチカラー顕微界面振動分光法の開発
東北大学	学際科学フロンティア研究所	助教	許 勝	弾性変形に特徴を有するバルク金属材料の開発とその応用

山形大学	大学院理工学研究科	准教授	大音 隆男	無機・有機・金属の複合ナノ構造プロセスを用いた赤色発光素子の高効率化
仙台高等専門学校	総合工学科	准教授	森 真奈美	生体用 Co-Cr-Mo 合金の塑性加工と高機能化に関する研究
静岡大学	電子工学研究所	准教授	横田 信英	次世代光通信に向けた集積型相互注入同期半導体レーザーの開発
東北大学	大学院工学研究科	准教授	庄司 衛太	微小流体要素のサイクルに着目した分離技術の開発
東北大学	多元物質科学研究所	講師	岡 弘樹	環境適合な有機ハイドライドの創出とグリーン水素の製造・貯蔵法の構築
東北大学	学際科学フロンティア研究所	助教 (JSPS 卓越研究員)	田原 淳士	次世代バイオマスの非古典的な分子変換法を用いた創薬および材料研究

対象研究 2) 助成額 @20 万円×1 テーマ

山形県 水産研究所	資源利用部	研究員	飛鳥塩辛研究チーム 五十嵐 悠	環境変化に対応した未利用魚魚醤油の開発 ～伝統文化「飛鳥塩辛」のエッセンスを込めて～
--------------	-------	-----	--------------------	-----------------------------------------------

② 実用化研究への助成 (@40 万円×2 テーマ)

東北地域における新産業創出の推進を図るため、令和 6 年度インテリジェント・コスモス奨励賞受賞者の研究実績報告書に基づき、実用化・事業化の観点から新事業創出の可能性があると認められる等の評価・調査を行い、評価が高いものに対し継続して助成を行いました。

大学等名	学部等名	職名	氏名	研究テーマ
東北大学	大学院工学研究科	准教授	松隈 啓	精密運動計測のための応用光工学
東北大学	大学院理学研究科	助教	井上 賢一	分光技術を駆使した界面研究の開拓と電極界面反応への展開

## (2) 国際的研究交流に対する助成事業 (定款第4条第2号)

### 国際学会への助成 (@10万円×2件)

国際的研究交流を東北地域全域において促進し、科学技術の発展と独創的学問の進歩向上に資するため、東北地域において開催される国際会議2テーマに対して助成を行いました。

催事名	開催大学・実行委員会等開催責任者 (代表者)	開催期間
1st International Conference on Molecular Spin Qubits Toward Quantum Computer and Sensors 第1回量子コンピューターと量子センサーを指向した分子スピン量子ビットに関する国際会議	ICMSQ2025 実行委員会 東北大学大学院理学研究科・名誉教授・客員研究者・山下正廣	令和7年6月7日(土) ～ 令和7年6月10日(火)
第2回 XJU-HIT-ENU 国際ワークショップ	XJU-HIT-ENU 国際ワークショップ実行委員会 実行委員長 金子賢治 (八戸工業大学 教授)	令和7年8月21日(木) ～ 令和7年8月23日(土)

## (3) その他の事業 (定款第4条第3号)

### ① 東北文化の研究に対する顕彰事業

我が国の科学技術と未来文化における頭脳エリアと新産業・文化の発信の拠点にし、我が国の繁栄秩序の構想に寄与していくことを目的として、東北が生み出した先見性のある文化を体系化して、内外に発信する優れた活動を行った下記2テーマに対して「インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞」を授与し、併せて研究助成金を交付しました。

### 助成額@10万円×2テーマ

大学名等	学部名等	職名	受賞者氏名	研究テーマ
東北工業大学	建築学部建築学科	准教授	不破 正仁	東北の文化的生態的景観の保全に関する研究
東北大学	東北アジア研究センター	教授	荒武 賢一郎	近世東北地方における武士の存在形態

## ② ホームページ等の充実

本公益財団法人の活動状況を広報し、事業活動の充実をしていくため、財団ホームページの充実を図り、公益法人としての責務である国民・社会への情報開示を推進しました。また、「財団ニュース」を発行し、東北地域の主な研究機関及び関係する県・市・商工会議所等に送付することにより、本財団の活動状況の浸透に努めました。

## ③ 理事長、常務理事による自治体訪問

各自治体における起業支援や技術シーズの事業化・産業化支援などの取り組み、特に実用化研究とのつながりについて現状把握と意見交換することを令和5年度より実施しており、令和7年度は新潟県産業労働部創業・イノベーション推進課を訪問しました。

訪問日・訪問自治体	対応者 ( )内は本財団における役職等	備 考
令和7年10月28日 新潟県	産業労働部 創業・イノベーション推進課 課長 藤田拓志氏（理事） 係長 小林啓輔氏 主事 幸田知華氏（連絡担当者）	理事長より本財団の理念について説明するとともに、各自治体との関係性に係る課題などについて意見交換を行った。 また、新潟県で行っている起業・創業支援、DX推進事業、技術開発支援などの県内産業の活性化に向けた取組の説明を受け、意見交換を行った。